

## 岡本太郎へのことば

川崎市岡本太郎美術館刊 2000年

### 岡本太郎へのコメント

1956年「世界・今日の美術展」の会場で、偶然岡本太郎に出会った。三人の若者は絵を見てもらおうと、この機会に是非お願いしようとして岡本太郎へ50号を1点ずつ並べた。岡本太郎は快く「見てあげよう」と例の目をギョロギョロさせながら、「君たちは若いし冒険をやり給え、冒険をやらな畔は新しいものは生まれない、頑張りなさい。」その時の私の作品は、ベニヤ板にムシロとアスファルトで描いた「オコッタ・オコッタ」というタイトルだと思う。従来の絵とは全く違った作品であった。岡本太郎の「頑張りなさい」という言葉は70歳になる私の脳裏に今でもやきついている。

### 岡本太郎との関係、出会ったきっかけ、エピソード

私が岡本太郎を知ったのは、1952年二科に初出品した時である。印象に残った作家が岡本太郎だった。私が絵画を志して最初に読んだ本が「青春ピカソ」。次に読んだ本が「今日の芸術」。20代の若き世代に大きな影響を与えた。其の後1956年の「世界・今日の芸術展」が、福岡の岩田屋デパートで開催され、私達数名は二科を脱退し、読売アンデパンダン展に出品しはじめた。

### 石橋泰幸

(他の執筆者/赤瀬川原平・秋山祐徳太子、石原慎太郎・今井俊満・永六輔・白髪一雄・田中一光・筑紫哲也・中ザワヒデキ・中村宏)